



2020年度 町田市町内会・自治会連合会 市政懇談会

次 第

[日時] 2020年11月17日 (火) 10:00~11:30

[場所] 町田市民フォーラム ホール

司会進行： 市民協働推進担当部長 大貫 一夫
町田市町内会・自治会連合会 高橋 清人

○ 連合会長の挨拶

町田市町内会・自治会連合会 会長 安達 廣美

○ 市長の挨拶

町田市長 石阪 丈一

○ 職員の紹介

○ 市政懇談会について

第1部 地域の議題に関する意見交換

1 境川洪水対策について

【下水道部】

2 小田急多摩線延伸及び多摩都市モノレール延伸について

【都市づくり部】

3 新型コロナウイルス対策について

【保健所】 【学校教育部】

4 コロナ禍での避難施設について

【防災安全部】 【都市づくり部】

5 道路の安全対策について

【道路部】

第2部 市政全般に関する意見交換

市長からの市政報告

○ 閉会の挨拶

閉会挨拶 町田市町内会・自治会連合会 会長代行 中 一登

2020年度 町田市町内会・自治会連合会 市政懇談会
議事録(要旨)

[日 時] 2020年11月17日(火) 10:00～11:30

[場 所] 町田市民フォーラム ホール

[出席者] 町田市長 石坂 丈一

防災安全部長 篠崎 陽彦

保健所長 河合 江美

道路部長 神蔵 重徳

都市づくり部長 萩野 功一

下水道部長 野田 好章

学校教育部長 北澤 英明

市民部市民協働推進担当部長 大貫 一夫

町田市町内会・自治会連合会長 ほか39名

事務局 市民部市民協働推進課 6名

司会進行：市民協働推進担当部長

町田市町内会・自治会連合会副会長

○町田市町内会・自治会連合会長の挨拶

○市長の挨拶

○職員の紹介

○市政懇談会について

第1部 地域の議題に関する意見交換

1 境川洪水対策について

境川は2012年に東京都により重点整備河川に指定され、時間降雨量65mm対応の整備目標が策定されました。その後2015年には「境川水系河川整備計画」が定められ、さらに2016年には「境川流域水害対策計画」が東京都と神奈川県により策定されています。この計画では、当初65mmが当面50mm対応と目標降雨量が引き下げられました。東京都所管の根岸橋～鶴瀬橋では50mm対応の整備が進められていますが、下流の水量抑制のため、実際は30mmまで流量調整が行われています。さらに、根岸橋上流の神奈川県所掌区間では30mm目標での整備を進めることになっているようですが、未整備の区間（二国橋～両国橋、馬場橋～根岸橋）もあり、この地域では昨年も水があふれています。豪雨による災害が全国的に頻発している現在、大きな被害が発生する前に、早急な対応をお願いします。

【回答】

下水道部長

境川洪水対策についてお答えします。

ご要望の根岸橋上流は、神奈川県厚木土木事務所津久井治水センターの管理区間となります。

神奈川県に対しましては、2020年3月24日に、対岸の相模原市と合同で神奈川県を訪問し、両市の副市長から県土整備局長に対し、昨年の要望も含めて、境川の早期改修について要請を行いました。要請内容としましては、近年の台風や豪雨により避難勧告の発令が頻発しており、神奈川県、東京都及び横浜市で策定した「境川水系河川整備計画」に基づき、整備を進めていただいているところですが、浸水被害は解消されておらず、市民からは不安の声と改修要請が多く寄せられていること。また、早期改修に加え、河川機能を確保するための堆積土砂の撤去等の対策も実施してほしいことを強く要請してまいりました。

県土整備局長からは、近年の台風等による水害への対応力強化のため、「神奈川県水防災戦略」に基づいて、遊水地や護岸整備などのハード対策を加速させるとともに、水害等の災害は、いつ起きてもおかしくないものと認識していることから、緊急に実施することで被害を最小化する対策として、堆積土砂の撤去や樹木の伐採等の対策に取り組むとの回答をいただきました。

今後も、河川による被害が発生しないよう神奈川県関係機関に強く要請してまいります。

《質疑》なし

2 小田急多摩線延伸及び多摩都市モノレール延伸について

以下の項目について、昨年度からの進捗状況をお知らせください。

(1) 小田急線の唐木田駅から先の延伸計画は、現在相模原市と共同で推進されています。上小山田の新駅周辺のまちづくりについても、しっかりした長期計画を策定し、特に駅周辺の整備構想を早急に策定することが将来のまちづくりにとって重要です。地域の再整備には長期間かかることから、まず構想の策定に早めに着手していただくようお願いします。

(2) 多摩都市モノレールの町田方面延伸は、商都町田にとって将来の市勢を左右する大切なプロジェクトです。この計画の中で、まだ導入路線すら決まっていない多摩センターから忠生地区について、従来町田市の諸計画の前提となっている小山田桜台団地～桜美林大学～忠生のルートに早急に決定さ

れるよう、東京都に強く働きかけをお願いします。

【回答】

都市づくり部長

(1) 小田急多摩線の延伸につきましては、国や東京都、沿線自治体、鉄道事業者などから成る「小田急多摩線延伸に関する関係者会議」におきまして、交通政策審議会の答申で示された収支採算性等の課題解決に向けた検討を行っているところです。

新駅周辺のまちづくりにつきましては、2016年3月に、新駅を中心とした小山田周辺の目指すべき将来の姿を示した、『小山田周辺まちづくり構想』を策定いたしました。

この構想は、鉄道駅の新設という大きな契機を捉えて、鉄道延伸の取組と連動して進めていくこととしております。

まちづくりの方針としましては、「便利で安心して暮らせるまち」「余暇を楽しめるまち」「人の交流を育むまち」を掲げております。

今後も、地域にお住まいの方や地権者の方々と調整させていただき、計画的・段階的にまちづくりを進めてまいります。

(2) 多摩都市モノレール町田方面延伸につきましては、2019年度に東京都が「多摩都市モノレール町田方面延伸ルート検討委員会」を立上げ、客観的かつ合理的なルートを検討しているところでございます。

町田市といたしましては、2020年度内に町田市が想定しているモノレールルートでの決定を、東京都に働きかけるとともに、ルート決定に向けて需要喚起につながる、まちづくりの検討を進めております。

現在、東京都においては、町田市がモノレールルートとして想定している町田都市計画道路3・3・36号線の本町田小学校から町田市民病院の区間における工事に加え、2020年9月には、町田市民病院から町田高校手前までの区間で、用地測量に着手しました。

《質疑》

町田第一地区町内会・自治会連合会

町田駅周辺が大きな問題を抱えているというご説明がありましたが、ここがしっかりと決まっていけないと多摩都市モノレール延伸で町田駅の方に人が入ってこないと思っているのですが、その辺の解決方法というのはいかがでしょうか。地元の会長会の中でも、無理なのではないのかという話が出ておりますので、お話をさせていただきたい。

また、駅周辺のまちづくりについては、行政だけの計画や意見で進んでいくのですよね。市民や地域のメンバーが何人か入って話をしていくことはできる

のでしょうか。

都市づくり部長

町田駅周辺のまちづくりにつきましては、現在都市づくり部で検討している状況です。モノレールの駅が原町田大通りから入ってきますので、これを踏まえながら、駅間の連絡をどうするか、一番はウォークブルと言って、歩いて街を楽しめるイメージで計画を検討しているところです。大きな方向性につきましては、都市づくりのマスタープランを今年、来年で策定する予定で、公表は来年度末を予定しておりますが、その中で町田駅周辺のまちづくりの方向性を示していきたいと考えております。

まちづくりについては現在、行政の中で検討をしておりますが、地域の皆様方のご意見を聞きながら最終的に決めてまいりたいと考えております。

3 新型コロナウイルス対策について

町田市においても新型コロナウイルス感染が拡大していますが、市としての新型コロナウイルス対策としてどのような対策を講じているのかお聞きします。

(1) 感染者の発生している地域と感染者が入院している病院等をなぜ発表できないのですか。発生地域がわかれば、市民が安心して行動できると思います。

(2) 新型コロナウイルス感染防止のために学校が休校閉鎖されていた期間、生徒への授業はどのようにされていたのですか。また、再度休校閉鎖される場合には、どのような対策を検討しているのですか。

【回答】

保健所長

(1) について、お答えいたします。

町田市では、東京都と連携して、新型コロナウイルス感染症対策を進めております。

感染者に関する情報についても、東京都が、年代、性別、居住地（区市町村名）、症状・経過といった内容の公表を行っております。町田市においては、都の方針に基づき、居住地の情報は市の単位としており、居住地区など、様々な口コミ情報などと合わせることで、感染者個人が推定できるような情報の公表は、感染者やその家族の人権尊重・個人情報保護の観点から差し控えております。併せて入院している病院についても、公表を差し控えております。

なお、新型コロナウイルス感染症に関する市のホームページは、各地区で行われました市政懇談会などでのご意見を踏まえまして11月5日更新分から

変更いたしました。最初に本日の新規感染者数をお知らせし、現在の市内の感染傾向等やPCR検査の受け入れ状況、感染により入院した方の入院期間、直近1週間（月曜日から日曜日）の感染者の状況なども掲載するようにいたしました。

今後も個人情報保護を遵守し、分かりやすい情報の発信に努めてまいります。

学校教育部長

(2) 学校では、3月1日から5月31日までの臨時休業期間の間、学習課題の配布や児童・生徒の状況を確認するため、5月11日から週1～2回の登校日を設定し、円滑な学校再開に向けた学習指導及び生活指導を行いました。

臨時休業中の学習については、児童・生徒の実態や学年に応じて、前年度の復習や教科書を活用して取り組むことのできる学習プリント等を配布し、各家庭で取り組んでもらいました。

また、インターネット環境が整っているご家庭の児童・生徒が対象にはなりますが、東京都教育委員会の「学びの支援サイト」や文部科学省の「子どもの学び応援サイト」など、インターネットを利用した学習ツールを紹介しました。

町田市では、国が提示する「GIGAスクール構想」に基づき、来年の2月までには児童・生徒全員分のタブレット端末を整備し、貸与いたします。

このタブレット端末は、学校ネットワークを経由してインターネットに接続するため、全ての普通教室・特別教室に高速大容量の通信ネットワークを整備する必要があり、来年3月までに完了する予定です。

コロナ禍に於いて、タブレット端末によるオンライン学習への期待が高まっておりますが、家庭にインターネット環境が無ければ、学校と家庭をつないだオンライン学習を行うことができません。ご家庭にネットワークがある場合はそれを利用していただき、無いご家庭に対しては義務教育期間中に安い価格で利用できるプランを契約できるよう、現在、通信事業者と調整を進めているところです。

このため、今年度内に臨時休業となった場合のオンライン学習は難しいと考えますが、来年4月以降は、学校と家庭それぞれのインターネット環境が整いますので、学校と各家庭をつないだホームルームや教員との面談、オンライン学習などが行えるように検討を進めております。

《質疑》

町田第二地区町内会・自治会連合会

コロナの感染症者について陽性者数は発表になっていますが、治った方、陰性者がどれくらいいるのかは発表になっていませんか。

保健所長

ホームページで、退院された方やホテル療養が終わられた方が328名ということで公表しております。ホームページは、週毎に更新をしております。

忠生地区町内会・自治会連合会

コロナについては、町田市独自でいろいろと対策をとられていると聞いておりますが、ご紹介をお願いします。

保健所長

町田市では、新型コロナウイルス感染症対策本部対策会議という形で、市役所全体で対策を進めております。対策本部会議では市長をメインに各担当部署がそれぞれの役割を果たしているところです。例えば定額給付金等です。また、第二部で市長より様々な紹介があると思います。

相原地区連合町内会

全児童にタブレットを配布するのは大いに結構ですが、問題はハウツーです。ソフト面で、タブレットを使って教える先生方の対応がしっかりしていなければならないが、その辺の計画は現在どうなっていますか。

学校教育部長

お話をいただいたように、学校で教える先生がタブレットを使いこなして、子どもたちに上手く伝えていかないと考えております。先生たちへのタブレット配布については、昨年度中に全学校の全教員に配布したところです。今後授業でどのように使っていくのかについては、8月から各学校をICT支援員が回っており、授業での使い方の検討を進めているところです。4月になったら全先生が上手く使えるかは難しいところもあると思いますが、授業で上手く活用できるように研修等を進めているところです。

小山連合町内会

学校関係では法政大学のサッカー部で集団感染がありました。そして、一昨日にはある専門学校では家庭内感染で一人陽性者が出たと情報が入りました。個人情報について理解をしているところですが、保健所等は一般の人に知らしめるといふ考え方や、学校との連携や指導はどのようにしているのでしょうか。そういった回答をいただくことで、市民の皆様が注意して行動することに繋がるのではないかと思いますので、考えをお聞かせいただきたい。

保健所長

感染者の方への対応ということでお聞きいただいたかと思います。今回大学

の運動部でクラスターが発生いたしました。そういった集団感染が起きた場合も含めてですが、感染者が出た場合は先ず、それぞれの方にどういう行動をなさっていたのかをお聞きし、その方が感染させる恐れがある濃厚接触者を特定し、濃厚接触者に連絡を取って検査をしていただいたり、潜伏期間中は外出自粛をお願いしたり個々に対応をしています。そういった中で、今回の大学での集団感染については、感染した方が寮に住んでいるのがすぐに分かりましたので、大学と連携をし、寮全体の状況把握や寮にいる方の一斉検査を行い、どのくらい感染者がいるのか評価を進めてまいりました。

そういう個々の事情の中で、例えば施設を利用されている方、いろいろな団体に属している方がいる場合は、そこに調査に入り、そこで感染拡大する危険性について評価しながら、その施設と連携して進めております。今回の大学については、大学の方も運動部ということで試合の関係など大学として公表しなくてはならない事情もあり、私どもも市内で大きな集団感染が起きるのは初めての事例ということもありまして、双方で話し合いをし、公表しました。施設での状況等については、個々の事情を勘案しながら対策を進めていきたいと考えております。

町田第一地区町内会・自治会連合会

COCOAについて、テレビに出演している先生方が大勢の人にやってもらえると良いという話をしている。行政としての案内や効果がどうなのかを知りたい。

保健所長

COCOAについては、厚生労働省が進めている接触アプリのことですが、市内ではCOCOAの通知がきっかけで感染が判明した方は、2人か3人いらっしゃったと思います。全体の効果、国レベルの効果についてはまだ検証されていないかと思っておりますが、COCOAを積極的にご利用いただけるようにホームページ等でご案内をしているところです。

金森むつみ会

COCOAに関して気になる点があったので、いくつかお伝えします。身近でCOCOAから通知があった時に、なかなか保健所と連絡が取れなかった。ようやく連絡が取れたら、その次の段階に行くのに時間がかかり2日後にはPCR検査を受けられたが、意外と検査場が閑散としていて、もっと早い対応ができたのではないかという話がありました。

それと、同じCOCOAで通知があった23区に住む方は、保健所がすぐに対応できないので、病院を紹介されてPCR検査を受け、その方より早くPCR検査を受けられたということでした。お二方とも陽性ではなく陰性だったの

ですが、その辺の素早い対応をこれから増えていったときにどうできるかという
ことを事前に対応を考えておいた方が良いと思ったのでお伝えいたします。

保健所長

COCOAの通知につきましては、一時期不可解な通知が多く出されるなど
大変混乱をいたしました。アプリの更新などがなされ、現在は問題なく作動し
ているようで、保健所でも、通知を受けた方を円滑に検査につなげています。

ガーデンセシア自治会

コロナの感染者数について、現在ロックダウンの時よりもはるかに数が大き
くて増え続けています。今後、町田市で独自に営業規制や、流行をどうするか
というガイドラインを設けることは考えられているのでしょうか。

市長

営業その他の問題については、都道府県単位でやっております。しかもこの
辺は、東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県の一都三県で連携をして営業を制限
するかということをやっています。もっと言えば、厚生労働省のコロナ対策担
当で決めるというやり方です。広域で人は動くという状況の中で、一つの市町
村が何かやるのはあまり効果的ではないので、こういう感染症の場合は、都道
府県で方針を決めることになっています。今、東京都では休業補償をいろいろ
とやっています。私どもでもしているところですが、お金の問題があります。
規制をかける場合には、国と都がお金を支払うというやり方をしていますの
で、私どもが独自でやるのは効果の問題や、お金の問題もありますので、市と
して独自でやるということは考えておりません。

4 コロナ禍での避難施設について

(1) 各避難施設の収容人数に、定員を決めてもらえないでしょうか。満
員の場合の対応を、地域で考えなければならないことが予想されます。追加施
設をはじめ体制についても、考える必要があると思います。

(2) 学校のみならず団地等集合住宅の空き部屋の活用を考えられないで
しょうか。UR等と連携をして、一時的に借用するのはいかがでしょうか。

【回答】

防災安全部長

(1) 各避難施設の収容人数に関しまして、町田市では2018年度に避難
施設ごとの避難者推計を実施いたしました。この結果、避難者数が収容可能人
数を超えていた施設は、71施設中3施設でした。

今年は、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から、全ての避難施

設において避難者一人当たりのスペースを4平方メートル確保することとしたことから、今まで以上に広い居住スペースが必要となりました。これによりますと、想定される避難者数が収容可能人数を超えている施設は、71施設中43施設となっております。

本年9月には、皆さまのご協力を頂き、合同避難施設関係者連絡会を開催いたしました。今後は各地域ごとの避難施設関係者連絡会等で各避難施設ごとの想定数をお示ししていく予定です。

ご指摘のとおり、一部の地域では避難想定人数と収容可能人数に差が生じているため、体育館以外にも、各種教室、各種スペースも使用できるようにいたしました。それでも収容人数が不足している避難施設がございますので、校舎外の活用や避難施設以外への有用な避難行動なども含め、個別にご相談をさせて頂きたいと考えております。今後も町内会・自治会連合会の皆さまと情報を共有しつつ、引き続き協議を進めてまいりたいと考えておりますのでどうぞ宜しくお願いいたします。

都市づくり部長

(2)UR都市再生機構などが所有している団地の空き部屋につきましては、電気、水道、ガスなどのライフラインが供給されておらず、照明器具なども設置されていないことから、突発的に必要となる避難施設として、使用することには適していないと考えております。

また、空き部屋が分散しているため、避難施設として運営する際の職員配置や情報伝達、食料配布など、様々な課題があると考えております。

これらの団地等集合住宅の空き部屋の活用につきましては、大地震発生時などに災害救助法が適用された場合、被災者の方に対する応急的な住宅として活用するため、UR都市再生機構や東京都住宅供給公社に住宅の提供を要請してまいります。

《質疑》なし

5 道路の安全対策について

これまでも要望してきましたが、都道、市道の道路標示が消えている地域が多くあります。歩行者、自転車等の交通事故防止対策の一助として、ペイントをお願いします。また、ガードレールについても再点検していただき、危険箇所への設置、補修をお願いします。

【回答】

道路部長

「道路の安全対策について」お答え致します。

道路の路面に標示されているものには、大きく分けて二種類あります。一つは、道路管理者である町田市や東京都が設置する「区画線」です。

もう一つは、交通管理者である警察（公安委員会）が設置する「道路標示」がございませう。

まず、道路管理者が設置する「区画線」についてですが、「区画線」とは、「車道中央線」や「車道外側線」等の白線で引かれるものを指し、町田市道上のものは町田市で対応し、都道上のものは東京都が対応しております。

市道上の「区画線」の引き直しにつきましては、道路パトロールや市民・地域からの通報に基づき現地調査を行い、危険性が高いと判断した所から順次引き直しを行っております。

次に、警察が設置する「道路標示」についてですが、「道路標示」とは、「横断歩道」や「停止線」等の交通規制に関するものを指し、警察により引き直し等が行われております。

警察が所管する「道路標示」の引き直し等につきましては、直接警察に要望していただくか、市に要望をしていただければ所轄の警察署へ対応を依頼致します。

路面の表示について、お気づきの箇所がございましたら、道路部までお知らせください。よろしくお願ひいたします。

また、ガードレールにつきましても、各道路管理者が管理しており、町田市では道路パトロールや、市民・地域からの通報や要望等に基づき、破損箇所や危険箇所を確認し、区画線と同様に危険性が高いと判断した所から順次修繕等を行っております。

こちらも、お気づきの箇所がございましたら、道路部までお知らせください。よろしくお願ひいたします。

なお、町田市には、スマートフォンから道路に関する通報ができる、「まちピカ町田くん」という通報アプリがございませう。ものの状態を写真で、スマートフォンの位置情報で場所を通報することが出来ます。口頭で、ものの状態や、該当箇所を伝えていただくのは、お手間がかかると思ひますので、どうぞ、ご活用ください。

《質疑》なし

第2部 市政全般に関する意見交換

市長からの市政報告

いろいろとお話をいただきましたが、新型コロナウイルス感染症というのが

今年の特徴だと思います。これについて、どんなことをやっているのか、国の財源も使っておりますので国の取り組みについてもお話させていただきます。

まずは、特別定額給付金です。これは、4月27日現在の住民登録をされている方にお配りいたしました。この過程でいわゆるデジタル化対応が国においても非常に遅れているということが分かりました。特にマイナンバーカードを使った電子申請により支給をしようとしたのですが、不具合がかなり起こり手紙で内容確認することになり、郵送申請と合わせて432億円支給しました。43万人のうち1000人近くの方が期限内に申請されなかったため、お配りできていません。

同じ時期に子育て世帯に特別給付金を約5億円支給しました。

町田市独自では、中小企業に対して15%以上減収の事業者を対象に補助金を交付しました。5月と7月と2回行いました。合わせて予算が約15億円でした。

それから医療機関についてですが、町田市医師会からも要望をいただきまして、4つの病院に2億円の補助金を出しました。

介護については、町田市では起きていませんが各都市の特別養護老人ホームで集団感染が起きています。通所介護に来ない人もいまして、経営が厳しい状況になっています。介護サービス事業者へ約3億円の支援を行いました。それでもまだまだ厳しいようであります。

市民病院については、町田市の会計で5億円の資金を追加しました。

町田市は、町田市医師会と保健所が連携して検査センターを作りました。4月27日より旭町の体育館の地下駐車場にPCRの地域外来検査センターを開設しました。都内では8番目、多摩地域では一番にスタートしました。現在は医師会に所属している病院に行っていて、そこでPCR検査を受けようという時には、医師会が運営しているところで検査をしています。一日30件くらいPCR検査をしております。市民の皆さんにふるさと納税を使っただけ、先月医師会に1000万円、歯科医師会に500万円を支給いたしました。皆様からの寄附に感謝申し上げます。

経済関係について、12月から経済活性化でプレミアムポイント事業を行います。商品券を売るのではなくキャッシュレスで行います。Pay Payで払うと2割プレミアムポイントが付きます。1か月の上限が5万円なので、2か月で10万円、Pay Payで買い物をすると2万円が戻ってきます。60億円買い物をしたうち12億円分は市が負担し、皆様に還元いたします。Pay Payを導入しているお店であれば使うことができます。

コロナの関係でもう一つデジタル化の推進という大きな課題がはっきりしました。先ほど申し上げましたが、マイナンバーカードを利用して給付金を払う仕組みだったものが、不具合が多く起こり、日本は非常に遅れていることが

わかりました。国でもデジタル庁ができます。これは全部の政策においてデジタル化をするということです。市役所でもコロナ以前進めておりました、税金、国保の関係では4月からPay Payで支払えるようになりました。更に、様々な申請がありますが、それをデジタル化して家で申請できるようにするプロジェクトも進めております。

また、介護認定の調査をする際、直接お宅に伺って話を聞いて、庁舎に戻ってきて手続きをしています。そうではなくて、現場で話を伺いながら入力処理をして、直接介護保険課にデータを送付して、次の介護認定審査会の予約を入れられるようにしようとしています。全ての行政についてデジタル化は必要になります。

先ほど質問がありました学校教育が一番の難題です。それは、先生についてです。先生は現在研修中で4月からすぐにタブレットで授業ができるわけではなく、学校が休みになってもできるように学校の中でもタブレットを使ったホームルームや簡単な授業くらいしかスタートできないと思います。もう一つ大きな問題は、文部科学省がデジタルの教科書を2024年にスタートすることです。21年からの3年間は準備期間で、今各教科書会社を含めてデジタルで使う教科書の開発をしています。現在ある紙の教科書をPDFでそのまま出すことはできますが、それではデジタル化の意味がないです。デジタルに対応した教科書の開発に時間がかかっておりますので、2月には全員にタブレットが配布できることになっていますが、それを使って授業をするということになっても教科書がないので、早く開発してほしいと思っています。政府も市役所も、東京都の仕事も全部デジタル化する流れになっていて、私どももそれを推進しているところでございます。

清掃工場は来年の9月くらいからごみのテスト搬入を行い、完了検査を行い、正式に新しい工場が稼働して現在の工場が止まるという準備の段階まで来ました。

多摩都市モノレールについては、知事に会う機会があれば念押ししたいと思っています。東京都の都市整備局長にも今月か来月にもう一度お願いに行こうと考えております。早くルートを決めて事業を加速させたいと思っています。

最後に野津田公園の、町田GIONスタジアムのバックスタンド側の増設工事を行っています。これは3月31日までにできることになっています。来年のシーズンのスタートまでには間に合わせようと進めています。今1万人のスタンドを1万5千人にするということでJ1に上られるような施設にできあがっております。

鶴川駅の南口の土地区画整理事業が始まります。事業認可を受けてこれから仮換地の指定の作業を始めております。南口に駅前広場をつくることをメインとした整理事業が始まりましたのでよろしくお願いいたします。

《質疑》

南大谷町内会

前にもお話したかと思いますが、昨年9月に住所整理事業のことで南大谷地区を行うことが決まりました。今年4月には金井が終わり、次は南大谷地区と聞いております。現在このコロナの状況でスタートがいつになるのかお聞きしたいです。

都市づくり部長

住所整理について回答いたします。金井については終わりました、次に南大谷を行ってまいります。次の順番は予定通り南大谷で変わりませんので、町内会とは、改めてお話したいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

木曽地区町内会・自治会連合会

南大谷の小田急線高架下をくぐって成瀬台に行くバス通りについて、道が狭くて渋滞が発生します。バスがすれ違うのも大変で運転手も難儀されていると思います。道を歩くのも非常に危険な状態です。あのような危険な場所の拡幅を優先的にしていただければと思います。

道路部長

今ご質問いただきました南大谷のガード下につきまして、都市計画道路町田3・4・34号線は、第四次事業化計画において優先整備路線に選ばれているところでございます。道路線形が、ちょうど恩田川に沿っていますので東京都の方と、また小田急線のガード下をくぐるということで小田急の方と協議を進めております。一部今年度から測量に入っていく状況でございます。ガード下については町田市も課題として認識しており、雨が降れば通行止めになります。歩行者につきましては、河川沿いに抜けられる道もございますので、あのガード下を直接歩く方は非常に少ないと思いますが、問題が多いところです。これから多くの時間をかけて地権者の方と話し合いを行い、ご理解をいただいで進めてまいります。まずは、第一歩としまして測量から入りますので引き続きよろしくお願いいたします。

相原地区連合町内会

成人健康診査を毎年行います。検査が終わると先生のお話を聞くのですが、以前は時間がないと郵送してくれました。ところが最近は先生の話聞くという制度に変わりました。そうすると来年から受けるのをやめようかと考える方も出てきてしまうので、元に戻していただきたいです。これは要望としてお聞きください。

○閉会の挨拶

町田市町内会・自治会連合会 会長代行